



「餌が同じなら結果は同じ？」 —乳牛の生産性に影響する要因—

ちょっと聞いてよ!

JA西日本くみあい飼料株式会社広島営業所 獣医師 中尾 継幸(なかお つぐゆき)氏

酪農家さんの悩みの種に「牛群の乳量が期待通りに伸びない」という事象があります。そのような時には、飼料給与メニュー変更や濃厚飼料の増給といった『餌の見直し』に考えが向くことが多いようですが、一方で他の農家では同じ餌・同様の給与体系でもしつかり乳が出ている、という場合もあります。そんな状況に遭遇すると「乳牛に同じ内容の餌を与える」と、乳量などは同じ結果が得られるのか? という疑問が頭に浮かぶのです。もし餌の内容で乳量が決まるならば、例えばある高泌乳農場の飼料設計をそのまま真似れば、どの農場でも必ずその乳量を搾ることが可能、という極論が導かれることとなります。



酪農家さんの悩みの種に「牛群の乳量が期待通りに伸びない」という事象があります。そのような時には、飼料給与メニュー変更や濃厚飼料の増給といった『餌の見直し』に考えが向くことが多いようですが、一方で他の農家では同じ餌・同様の給与体系でもしつかり乳が出ている、という場合もあります。そんな状況に遭遇すると「乳牛に同じ内容の餌を与える」と、乳量などは同じ結果が得られるのか? という疑問が頭に浮かぶのです。もし餌の内容で乳量が決まるならば、例えばある高泌乳農場の飼料設計をそのまま真似れば、どの農場でも必ずその乳量を搾ることが可能、という極論が導かれることとなります。

酪農家さんの悩みの種に「牛群の乳量が期待通りに伸びない」という事象があります。そのような時には、飼料給与メニュー変更や濃厚飼料の増給といった『餌の見直し』に考えが向くことが多いようですが、一方で他の農家では同じ餌・同様の給与体系でもしつかり乳が出ている、という場合もあります。そんな状況に遭遇すると「乳牛に同じ内容の餌を与える」と、乳量などは同じ結果が得られるのか? という疑問が頭に浮かぶのです。もし餌の内容で乳量が決まるならば、例えばある高泌乳農場の飼料設計をそのまま真似れば、どの農場でも必ずその乳量を搾ることが可能、という極論が導かれることとなります。